

高等学校 令和5年度(1学年用)教科

芸術 科目 音楽 I

教科: 芸術

科目: 音楽 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 7 組

教科担当者: (1組: 鳴島) (2組: 鳴島) (3組: 鳴島) (4組: 鳴島) (5組: 鳴島) (6組: 鳴島) (7組: 鳴島)

使用教科書: (高校生の音楽 I (教育芸術社))

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

1 学期	題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
	<p>●歌唱 (校歌、この道、合唱曲 他) 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組む</p>	<p>・指導事項 ○歌う時の姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>	○			<p>【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	6	
	<p>●器楽 (ギターまたはキーボードのアンサンブル) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組む</p>	<p>○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>	○			<p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	6	
	<p>●ボディーパーカッション (Clapping Quartet No.1) 【知識及び技能】 拍子とリズムの関係を理解して、音色、音やリズムを連ねたり重ねたりしたときの響き、特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深める【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために、音楽を形づくっているリズムの要素を変化させ、躍動的に演奏する技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 リズムやリズム同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって音色を豊かに生き生きとし演奏する器楽表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 リズムパターンを即興で変化させて自己のイメージを演奏する学習活動や創作の学習活動に主体的・協働的に取り組む</p>	<p>○リズムパターンを躍動感をもって表現する ○反復、変化、対照などの手法を活用して、リズムパターンを即興で変化させて演奏させる ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>	○	○		<p>【知識及び技能】 拍子とリズムの関係を理解して、音色、音やリズムを連ねたり重ねたりしたときの響き、特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために、音楽を形づくっているリズムの要素を変化させ、躍動的に演奏する技能を身に付けている。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 リズムやリズム同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって音色を豊かに生き生きとし演奏する器楽表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 リズムパターンを即興で変化させて自己のイメージを演奏する学習活動や創作の学習活動に主体的・協働的に取り組んでいるか。</p>	○	○	○	6	

<p>●歌唱 (イタリア歌曲、混声合唱曲 他) 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む</p>	<p>○イタリア語の発音の特徴を理解する ○イタリア語のアクセントやリズムや旋律との関わりを理解する ○歌詞の内容を理解し、表現を工夫する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>				<p>【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	8
<p>●鑑賞 世界の諸民族の音楽 (ガムラン《ランチャラン マニャルセウ》の音楽の構造を理解し、ガムラン音楽とインドネシアの風上や気候との関わり 他) 【知識及び技能】 ガムラン音楽の循環的な構造を理解する【知識】 ガムラン音楽の文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深める【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 ガムラン音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、ガムラン音楽の表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴く 【学びに向かう力、人間性等】 ガムラン音楽とインドネシアの文化、自然及び社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>○ガムランの楽器の名称とそれぞれの役割を理解する ○楽器とリズムの組み合わせや、骨格旋律について理解する ○ジャワ島地域の自然と音楽の関わりについて考える ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>				<p>【知識及び技能】 ガムラン音楽の循環的な構造を理解している【知識】 ガムラン音楽の文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている【知識】 【思考力、判断力、表現力等】 ガムラン音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、ガムラン音楽の表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を味わって聴いている 【学びに向かう力、人間性等】 ガムラン音楽とインドネシアの文化、自然及び社会などとの関わりについて理解する鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	8
<p>●器楽 (ギターまたはキーボードのアンサンブル) 【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組む</p>	<p>○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>				<p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心をもち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	8
<p>●創作 (《きらきら星》の変奏や編曲 他) 【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解する【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 旋律を変奏させ、アンサンブルを作る編曲などの創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む</p>	<p>○イメージをもって《きらきら星》の旋律を変奏する ○つくった《きらきら星》の変奏曲を器楽アンサンブルに編曲する ○完成した作品をグループごとに発表する</p>				<p>【知識及び技能】 変奏や変奏曲、編曲について理解している【知識】 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲する技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって変奏や編曲を伴う創作表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 旋律を変奏させ、アンサンブルを作る編曲などの創作表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	6
<p>●歌唱・鑑賞 (風が吹かれて、A Whole New World、ポピュラー音楽のジャンル他) 【知識及び技能】 ポピュラー音楽のジャンル、音楽構造や歌詞に込められたアーティストの主張などとの関わり及びポピュラー音楽の多様性などについて理解を深める【知識】</p>	<p>○ミュージカル映画《アラジン》を鑑賞し、登場人物の心情を感じ取る ○ポピュラー音楽のジャンルを理解する ○英語歌詞の内容についてその背景を含めて理解する ○歌詞の内容にふさわしい表現を考えて演奏する ○芸術活動を支える著作権について理解する</p>				<p>【知識及び技能】 ポピュラー音楽のジャンル、音楽構造や歌詞に込められたアーティストの主張などとの関わり及びポピュラー音楽の多様性などについて理解を深めている【知識】 歌詞の内容を踏まえて、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】</p>				





高等学校 令和5年度(2学年用)教科

芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組： 鳴島 ）（2組： 鳴島 ）（3組： 鳴島 ）（4組： 鳴島 ）（5組： 鳴島 ）（6組： 鳴島 ）

使用教科書：（ 高校生の音楽Ⅱ（教育芸術社） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
<p>●歌唱 (早春賦、Nel cor piu non mi sento、合唱曲 他)</p> <p>【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組む</p>	<p>・指導事項 ○歌う時の姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ○歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ○旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する ○楽譜に書かれている記号や拍子を確認する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>	○			<p>【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	6	
<p>●器楽 (ギターまたはキーボードのアンサンブル)</p> <p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組む</p>	<p>○五線譜やコードの読譜について理解し、奏法を学ぶ ○ギターとキーボードのお互いの楽器の音を聴き合いながら、ハーモニーを味わう ○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容(違う奏法や副旋律)を用意し、指導する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>	○			<p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】 ギターの場合はコード(G、D7、C他)、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	6	
<p>●歌唱 (ドイツ歌曲、混声合唱曲 他)</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組む</p>	<p>○ドイツ語の発音の特徴を理解する ○ドイツ語のアクセントやリズムや旋律との関わりを理解する ○歌詞の内容を理解し、表現を工夫する ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>	○			<p>【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している【知識】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている【技能】 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している 【学びに向かう力、人間性等】 ドイツ語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現と豊かに関わる歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている</p>	○	○	○	8	
<p>●鑑賞 近現代音楽史</p>	<p>○各作曲家の作風、考え方、音楽の構造を理解する。 ○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。(一人1台端末の使用)</p>				<p>【知識及び技能】 音楽の循環的な構造を理解している【知識】 【思考力、判断力、表現力等】</p>					



<p>四心と本館の目録や発伝の関わりについて理解する【知識】</p> <p>ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解する【知識】</p> <p>ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付ける【技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組む</p>	<p>目を凝らさずに、演奏を聴く</p> <p>○個人の技能差があることを踏まえ、発展した内容（違う奏法や副旋律）を用意し、指導する</p> <p>○教科書に書かれているQRコードを読み取り、演奏動画を鑑賞することで、表現活動に生かす。（一人1台端末の使用）</p>	○		<p>コードの物はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解している【知識】</p> <p>ギターの場合はコード（G、D7、C他）、キーボードの場合は五線譜による読譜について理解し、演奏するために必要な奏法の技能を身に付けている【技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのようにギターとキーボードのアンサンブルをするかについて創意工夫している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>ギターとキーボードのアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的にギターとキーボードのアンサンブルの演奏の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	<p>6</p> <hr/> <p>合計</p> <hr/> <p>58</p>
--	---	---	--	--	---	---	---	--

紅葉川高等学校 令和5年度 教科(自由選択) 科目(音楽Ⅰ) 年間授業計画

教科:(自由選択) 科目:(音楽Ⅰ) 単位数(2) 対象:(第3学年 選択者)

教科担当者:(鳴島)

使用教科書:高校生の音楽Ⅰ(教育芸術社)

使用教材: 標準バイエル教則本(全音楽譜出版社)、教員作成プリント、パワーポイント資料、DVDなど

指導内容	科目 音楽Ⅰ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
授業ガイダンス 自己紹介	・授業概要 ・今年度の学習内容について	平常点(授業態度、楽器の片づけ)、表現の技能(音楽の基礎的理解、読譜力、課題理解度、演奏の完成度)を総合的に勘案し、評価する。	2
4月 テキストの使い方 鍵盤の使い方 楽譜の見方 練習の方法	・テキストの使い方について ・鍵盤の使い方について ・ト音記号、ヘ音記号の楽譜の見方、運指番号について ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・個人差を想定し、個人の技能に応じた練習方法を提示する		4
5月 楽典 発声・歌唱練習 (童謡・唱歌・合唱曲他) 標準バイエル個人課題 ギターまたはキーボード個人課題	・楽譜の読み方、音楽の基礎的理解 ・豊かで響きある声で歌えるように、情景等を思い浮かべながら、曲想を考えながら、自信をもって歌えるようにする ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・技能差に応じた課題を提示し、個人の演奏技能向上を目指す		4
6月 楽典 発声・歌唱練習 (童謡・唱歌・合唱曲他) 標準バイエル個人課題 ギターまたはキーボード個人課題	・楽譜の読み方、音楽の基礎的理解 ・豊かで響きある声で歌えるように、情景等を思い浮かべながら、曲想を考えながら、自信をもって歌えるようにする ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・技能差に応じた課題を提示し、個人の演奏技能向上を目指す		4
7月 リズムアンサンブル 歌唱の試験・発表 ギターまたはキーボードの試験・発表	・読譜力の向上を目指し、身体でリズムを感じ、仲間とのアンサンブルを楽しむ ・ギターまたはキーボードの試験		6
9月 楽典 発声・歌唱練習 (童謡・唱歌・合唱曲他) 標準バイエル個人課題 ギターまたはキーボード個人課題	・楽譜の読み方、音楽の基礎的理解 ・豊かで響きある声で歌えるように、情景等を思い浮かべながら、曲想を考えながら、自信をもって歌えるようにする ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・技能差に応じた課題を提示し、個人の演奏技能向上を目指す		6
10月 楽典 発声・歌唱練習 (童謡・唱歌・合唱曲他) 標準バイエル個人課題 ギターまたはキーボード個人課題	・楽譜の読み方、音楽の基礎的理解 ・豊かで響きある声で歌えるように、情景等を思い浮かべながら、曲想を考えながら、自信をもって歌えるようにする ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・技能差に応じた課題を提示し、個人の演奏技能向上を目指す		4
11月 ギターまたはキーボード個人課題	・個人課題の練習 ・個人の目標と技能に応じた楽曲を練習し、音楽で培った表現方法や技法を用いて、集大成としての発表を目指す		18
12月 ギターまたはキーボード個人課題	・個人課題の練習 ・個人の目標と技能に応じた楽曲を練習し、音楽で培った表現方法や技法を用いて、集大成としての発表を目指す		18
1月 まとめ ギターまたはキーボードの発表	・1年間の総括 ・ギターまたはキーボードの試験		2

紅葉川高等学校 令和5年度 教科(自由選択) 科目(音楽Ⅲ) 年間授業計画

教科:(自由選択) 科目:(音楽Ⅲ) 単位数(2) 対象:(第3学年 選択者)

教科担当者:(鳴島)

使用教科書:Joy of Music(教育芸術社)

使用教材: 標準バイエル教則本(全音楽譜出版社)、教員作成プリント、パワーポイント資料、DVDなど

指導内容	科目 音楽Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
授業ガイダンス 自己紹介	・授業概要 ・今年度の学習内容について	平常点(授業態度、楽器の片づけ)、表現の技能(音楽の基礎的理解、読譜力、課題理解度、演奏の完成度)を総合的に勘案し、評価する。	2
4月 テキストの使い方 鍵盤の使い方 楽譜の見方 練習の方法	・テキストの使い方について ・鍵盤の使い方について ・ト音記号、ヘ音記号の楽譜の見方、運指番号について ・個人差を想定し、個人の技能に応じた練習方法を提示する		4
5月 楽典 発声・歌唱練習 (歌曲・合唱曲他) 標準バイエル個人課題 ギターまたはキーボード個人課題	・楽譜の読み方、音楽の基礎的理解 ・豊かで響きある声で歌えるように、情景等を思い浮かべながら、曲想を考えながら、自信をもって歌えるようにする ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・技能差に応じた課題を提示し、個人の演奏技能向上を目指す		4
6月 楽典 発声・歌唱練習 (歌曲・合唱曲他) 標準バイエル個人課題 ギターまたはキーボード個人課題	・楽譜の読み方、音楽の基礎的理解 ・豊かで響きある声で歌えるように、情景等を思い浮かべながら、曲想を考えながら、自信をもって歌えるようにする ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・技能差に応じた課題を提示し、個人の演奏技能向上を目指す		4
7月 リズムアンサンブル 歌唱の試験・発表 ギターまたはキーボードの試験・発表	・読譜力の向上を目指し、身体でリズムを感じ、仲間とのアンサンブルを楽しむ ・ギターまたはキーボードの試験		6
9月 楽典 発声・歌唱練習 (童謡・唱歌・合唱曲他) 標準バイエル個人課題 ギターまたはキーボード個人課題	・楽譜の読み方、音楽の基礎的理解 ・豊かで響きある声で歌えるように、情景等を思い浮かべながら、曲想を考えながら、自信をもって歌えるようにする ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・技能差に応じた課題を提示し、個人の演奏技能向上を目指す		6
10月 楽典 発声・歌唱練習 (童謡・唱歌・合唱曲他) 標準バイエル個人課題 ギターまたはキーボード個人課題	・楽譜の読み方、音楽の基礎的理解 ・豊かで響きある声で歌えるように、情景等を思い浮かべながら、曲想を考えながら、自信をもって歌えるようにする ・教材の趣旨と特徴をよく理解でき、音の動きに即して正しい運指となるようにする ・技能差に応じた課題を提示し、個人の演奏技能向上を目指す		4
11月 ギターまたはキーボード個人課題	・個人課題の練習 ・個人の目標と技能に応じた楽曲を練習し、音楽で培った表現方法や技法を用いて、集大成としての発表を目指す		18
12月			
1月 まとめ ギターまたはキーボードの発表	・1年間の総括 ・ギターまたはキーボードの試験		2



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組：草川) (2組：草川) (3組：草川) (4組：草川) (5組：草川) (6組：草川) (7組：草川)

使用教科書： (美術1 (光村図書) )

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

題材の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映							
1 学 期	<p>●表現基礎を学ぶ（絵画表現）</p> <p>【知識及び技能】 形や色彩、材料などの性質や造形的な特徴などをもとに、表現の基礎的な部分を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、創造的にあらわす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○鉛筆の性質や特徴を理解し、デッサン表現の基礎的な考え（調子、光、陰影、立体感など）について理解する。 ○カッターや定規などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○他者の作品からよさや美しさを感じ取り、自分の創造的な表現活動に取り組む。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）</p>	○			<p>【知識及び技能】 形や色彩、材料などの性質や造形的な特徴などをもとに、表現の基礎的な部分を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、創造的にあらわそうとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>●静物画（絵画表現）</p> <p>【知識及び技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、静物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。 意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや、その静物に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練る。</p> <p>描かれている静物の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○心ひかれる静物をあらわすことに関心をもち、静物から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ○光や陰影、奥行きの表現などを工夫して制作する。 ○絵具や筆などの用具の特性を生かして表現を工夫させる。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ○教科書のQRコードを読み取り画像資料や動画資料を鑑賞し、表現活動に生かす。（スマスク端末の活用）</p>	○			<p>【知識及び技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、光や陰影、奥行きなどの造形的な特徴などをもとに、静物を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 心ひかれる静物を見つめ感じ取ったことや、その静物に対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、光や陰影、構図や奥行きなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。【発想・構想】 描かれている静物の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【思・鑑賞】 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に静物を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。【態度・鑑賞】</p>	○	○	○	12
	<p>●スケッチブック表紙デザイン（デザイン）</p> <p>【知識及び技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>○メッセージを広く伝えるデザインに関心をもち、メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。 ○主題をもとに、作品形態や表現方法、配色や構成などの構想を練る。 ○形や色、構成などを工夫して制作する。</p>				<p>●スケッチブック表紙デザイン（デザイン）</p> <p>【知識及び技能】 形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。</p>				









## 紅葉川高等学校 令和5年度 教科(自由選択) 科目(美術Ⅲ) 年間授業計画

教科:(自由選択) 科目:(美術Ⅲ) 単位数(2) 対象:(第3学年 選択者)

教科担当者:(草川)

使用教科書:美術3(光村図書)

使用教材: 教員作成プリント、パワーポイント資料など

指導内容	科目 美術Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月 授業ガイダンス 自己紹介	・授業概要 ・今年度の学習内容について。	平常点(授業態度、片付け・掃除状況、小課題等の提出物)、作品点(課題理解度、作品提出、作品完成度)を総合的に勘案し、評価する。	2
表現基礎・応用 デッサン基礎	・美術表現の基礎から応用について ・デッサン全般について クロッキーなど ・デッサン用具の使用方法について		4
5月 絵画・デザイン技法	・絵画・デザイン実習 水張りパネル、キャンバス、紙などを支持体とした制作①		4
6月 絵画・デザイン技法	・絵画・デザイン実習 水張りパネル、キャンバス、紙などを支持体とした制作②		4
7月 絵画・デザイン技法	・絵画・デザイン実習 水張りパネル、キャンバス、紙などを支持体とした制作③		6
9月 水牛角細工	・用と美について ・材料の扱い方 ・手工具の説明		6
10月 水牛角細工	・材料加工講習 ・加飾について ・仕上げについて		4
11月 個人作品制作	・個人美術作品を制作 ・平面・立体・映像技法など、美術で培った表現方法や技法を用いて、集大成としての作品をつくる。		18
12月 まとめ	1年間の総括		2



高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術

科目：書道Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 2 組～ 7 組

教科担当者：（2組：梅田）（3組：梅田）（4組：梅田）（5組：梅田）（6組：梅田）（7組：梅田）

使用教科書：（書Ⅰ（光村図書））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		漢 仮	漢	仮						
<p>●書写から書道へ・漢字の変遷</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。</li> <li>小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。</li> <li>日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体や変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字と古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> <li>漢字の書の変遷やその背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習に取り組み、書に対する感性を豊かにし、</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①書道の三分野を確認し、臨書・鑑賞・創作の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解させる。②臨書の方法、拓本に関する基礎的な知識を身につけさせる。③教科書p126「書写で学習したこと」や硬筆レッスン帳等を参照し、筆使い、字形、文字の大きさと配列など、小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。</p> <p>④漢字には五つの書体があることを理解させる。</p> <p>⑤それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解させる。 (書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用)</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書道の分野や書道で学習すること、小・中・学校の国語科書写で学習した内容を理解している。</li> <li>日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術科書道の学習に関心を持ち、書道で学習した内容に関心を持ち、主体的に取り組んで以降とする態度を養っている。</li> <li>漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	6	
<p>●文字の造形を学ぶ（漢字の書・楷書1）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。</li> <li>楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。</li> <li>楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①鑑賞「あなたは、どの楷書が好き？」(教科書p26.27)より、文字を比較して自分が好きなものを選び、線質や字形の特徴について自分の言葉でまとめさせる。</p> <p>②唐の四大家について学ぶ。人柄や政治的立場、代表作を知る。</p> <p>③孔子廟堂碑(教科書p30~33)を鑑賞し、伸びやかな点画や向勢で丸みのある書風を感じ取り、点画の特徴を意識して臨書させる。</p> <p>④九成宮醴泉銘(教科書p34~37)を鑑賞し、直線的で鋭い点画や背勢がもたらす厳格な書風を感じ取り、点画の特徴を意識して臨書させる。</p> <p>⑤a雁塔聖教序(教科書p38~41)とb顔氏家廟碑(教科書p42~45)を比較鑑賞し、aの変化に富んだ点画とbの肉太の点画や向勢の構えの書風の違いを理解し、どちらか一方の古典を選んで臨書させる。</p> <p>⑥完成した作品を並べて鑑賞し合い、用筆や紙面のまとめ方などの工夫を感じ取る。 (書画カメラ、プロジェクター)</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現)</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。(知識・鑑賞)</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。(表現)</li> <li>楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑賞)</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現)</li> <li>主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)</li> </ul>	○	○	○	12	
<p>●文字の造形を学ぶ（漢字の書・楷書2）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①a牛欄造像記(教科書p48・49、153~156)とb鄭義下碑(教科書p50・51)を比較鑑賞し、aの刻法によって生じる独特な点画や字形、方勢による力強さや重厚感、また、bの丸みのある点画や、空間を</p>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現)</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。(知識・鑑賞)</li> </ul>					

<p>国等の文字と書の伝統と文化について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。</li> <li>楷書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉える。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> </ul>	<p>包むような大回りの運筆、悠然とした文字の構えなどの特徴を理解させる。</p> <p>②aとbどちらか一方の好きな古典を選び、古典それぞれの点画や線質・字形の特徴を意識して臨書させる。</p> <p>③完成した作品を並べて鑑賞し合い、用筆や紙面のまとめ方などの工夫を感じ取る。(書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用)</p>	○	○	<p>鑑賞)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。(技能)</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。(表現)</li> <li>楷書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。(鑑賞)</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現)</li> <li>主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)</li> </ul>	○	○	○	4
<p>●篆刻</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。</li> <li>漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の鑑賞、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。</li> <li>漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉える。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①印の使い方や種類、篆刻に必要な用具とその使い方を理解させる。</p> <p>②選文・検字から押印・補刀までの制作手順を理解させる。</p> <p>③篆書「皇帝」を鑑賞して篆書の特徴を感じ取り、楷書との違いを知る。</p> <p>④自分の氏名の篆書を検字し、篆書の線質や字形で印稿を制作させる。</p> <p>⑤白文印か朱文印を選び、印を制作する。白文印と朱文印では線の太さが異なるので注意を促す。</p> <p>⑥布字はマジック転写で行う。</p> <p>⑦運刀については、印床を用いながら怪我がないように留意させる。刀の角度と深さを意識して、力強く一気に運刀するよう指示する。</p> <p>⑧撃刃は適宜行い、完成したら作品に押印する。</p> <p>(教科書、篆書字典、書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント)</p>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現)</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。(知識・鑑賞)</li> <li>漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。(技能)</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。(表現)</li> <li>漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。(鑑賞)</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>主体的に篆刻の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現)</li> <li>主体的に篆刻の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)</li> </ul>	○	○	○	10
<p>2学期</p> <p>●文字の造形を学ぶ(漢字の書・行書)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。</li> <li>行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。</li> <li>行書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉える。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続、省略などの特徴を理解させる。</p> <p>②蘭亭序(p54~58、145~148)を鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。</p> <p>③教科書やスライド資料を参考に、書道史における書聖・王羲之と蘭亭序の価値を理解し、その書風や文章の内容を理解する。</p> <p>④蘭亭序の抑揚を利かせた用筆、多様な字形などを確認し、筆脈と抑揚を意識して臨書させる。</p> <p>⑤空海の人物像や書道史における位置づけについて理解する。</p> <p>⑥風信帖(教科書p62・63、141~144)を確認し、書かれた経緯や書風、文章の内容と大意を理解する。</p> <p>⑦風信帖の重厚感のある用筆、安定した字形等意識して臨書させる。(書画カメラ、プロジェクター、ワークプリント等を使用)</p>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現)</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。(知識・鑑賞)</li> <li>行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。(技能)</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について工夫している。(表現)</li> <li>行書の古典の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。(鑑賞)</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。(表現)</li> <li>主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑賞)</li> </ul>	○	○	○	14
<p>●文字の造形を学ぶ・構成を学ぶ(仮名の書)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり日本の文字と</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>①漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。</p> <p>②万葉仮名から草仮名を経て女手に至る仮名文字の推移と、それぞれの性質を理解する。</p>			<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知識・表現)</li> <li>線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。(知識・鑑賞)</li> </ul>				





<p>効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。</li> <li>・漢字の書の本と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。</li> <li>・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。</li> <li>・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。</li> <li>・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。</li> <li>・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。</li> <li>・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> <li>・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> </ul>	<p>(草書の古典「書譜」の中から好きな文字を扇面に臨書する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ屏風創作作品制作をする。(屏風に篆書・隸書・草書の中から好きな書体を選び、構成を考えて好きな文字を書体の特徴を基に制作する) ・半切四分の一看板作品制作をする。(架空の店の看板を考え、店のテーマにふさわしい書体と趣で書く)</li> </ul>	○	○	<p>趣との関わりについて理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。</li> <li>・漢字の書の本と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。</li> <li>・漢字の書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。</li> <li>・漢字の書の変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字の書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。</li> <li>・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。</li> <li>・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。</li> <li>・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> <li>・主体的に漢字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	10
<p>●刻字</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刻字を構成する様々な要素について理解させる。</li> <li>・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めさせる。</li> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めさせる。</li> <li>・刻字の特質とその歴史について理解を深めさせる。</li> <li>・刻字の本と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。</li> <li>・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けさせる。</li> <li>・変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道Ⅰの学習を踏まえ、刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。</li> <li>・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。</li> <li>・刻字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。</li> <li>・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に刻字の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> <li>・主体的に刻字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。</li> </ul>	<p>●刻字</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書を凹凸で表現する。(書稿作成/彫刻刀で刻す/着色する)</li> <li>・はがき大の書作品を制作する。</li> <li>・彫刻刀での刻し方を知る。</li> <li>・アクリル絵具の使い方、色の調合についてを知る。</li> <li>・拓本を採る。</li> <li>・拓本の仕組みを知る。</li> <li>・作品・拓本の鑑賞</li> </ul>	○	○	<p>●刻字</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刻字を構成する様々な要素について理解している。</li> <li>・刻字の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解を深めている。</li> <li>・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解を深めている。</li> <li>・刻字の特質とその歴史について理解を深めている。</li> <li>・刻字の本と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。</li> <li>・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。</li> <li>・変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書道Ⅰの学習を踏まえ、刻字の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。</li> <li>・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。</li> <li>・刻字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。</li> <li>・生活や社会における漢字の書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に刻字の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>・主体的に刻字の書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	16
<p>2学期</p> <p>●漢字の書の作品制作2</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の書を構成する様々な要素について理解させる。</li> <li>・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解させる。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現</li> </ul>	<p>●漢字の書の作品制作2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全紙二分の一に篆書・隸書・草書いずれかの古典を選択し臨書作品を制作する。</li> <li>・古典の特徴を調べる。</li> <li>・古典の特徴を基に作品制作する。</li> <li>・作品に応じた用具(筆・</li> </ul>			<p>●漢字の書の作品制作2</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。</li> <li>・漢字の書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風</li> </ul>			





と文化について理解を深めさせる。

- ・漢字仮名交じりの書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めさせる。
- ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けさせる。
- ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けさせる。

【思考・判断・表現】

- ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字仮名交じりの書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。
- ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫させる。
- ・漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。
- ・生活や社会における漢字仮名交じりの書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えさせる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。
- ・主体的に漢字かな交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。

- ・漢字の書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。
- ・漢字仮名交じりの書の古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。
- ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

- ・書道Ⅰの学習を踏まえ、漢字仮名交じりの書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫するよう促す。
- ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。
- ・漢字仮名交じりの書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えるように伝える。
- ・生活や社会における漢字仮名交じりの書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組むよう伝える。
- ・主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。